

ドジャースタジアムへのカメラ持ち込みについて

日之影町国民健康保険病院 内科 重永 哲洋

2024年5月の米国胸部学会 ATS 参加に際し経由地の LA で野球観戦をしました。大谷選手人気で、現在ネット上で多く検索されている上記の件について体験談をお伝えします。

球団公式サイトには「ドジャースタジアムでは、個人使用の場合に限り、スチルカメラおよびビデオカメラの使用が許可されています。（中略）プロ仕様の写真撮影道具（三脚、望遠レンズなど）のスタジアム内への持ち込みは禁止、レンズの長さは6インチを超えることはできません。」と記載されています。（通常の Canon フルサイズ一眼+L レンズは大きすぎて報道許可証のない一般客は持ち込みできません。

入り口ゲートのセキュリティエリアで金属探知機をくぐり係員が目視でバッグの中をチェックします。バッグは大きさも決まっており透明なビニールバックのみ可です。カメラは特に入念にチェックされます。レンズはしっかり伸ばした状態の長さにされ、係員が腰に下げたワイヤー綴じのマニュアル冊子の一辺をものさしにしてレンズの長さを正確に測定しました。（レンズ一体型の超高倍率のコンデジはスイッチオンされレンズがぐーんと長く伸びた時点で残念ながらアウト判定です。）私は今回マイクロフォーサーズ規格

(MFT) のオリンパスの小さなミラーレス一眼本体にパナソニック LUMIX G VARIO 100-300mm/F4.0-5.6 II で無事ゲート通過しました。私のカメラを見て日本人客から「私はダメだと言われた」と声をかけられましたので「カメラ本体とレンズは分離しておきレンズのリアキャップとフード、フロントキャップ、防護フィルターを外して最短の状態でのギリギリ通過です」とお伝えしました。

MFT 規格はセンサーが小さく画質はフルサイズには及ばないのですが、カメラ性能の劇的な進歩で以前より画質はかなり向上しています。レンズ焦点距離は2倍つまり35mm判換算で200-600mm相当、撮像センサーシフト式ボディ内手ぶれ補正5軸6.5段分により三脚なし手持ちで超望遠撮影が可能でさらにデジタル望遠機能でさらに2倍拡大で1200mm相当となるため外野の豆粒席からでも大谷選手を撮影することができました。スマホでは絶対に撮れない写真でいい記念です。昨年まで使用の M.ZUIKO DIGITAL ED 75-300mm F4.8-6.7 II は上記 LUMIX G レンズより一段暗く望遠端の解像が甘いため買換ええました。(LAでの観戦に先んじ2月のソフトバンク春季宮崎キャンプで上記撮影機材を確認しました。)

周囲を見回すとカメラ持参は圧倒的に日本人で、ソニーのミラーレスで軽快に連写している方もいて今後の参考になりました。ちなみに内野席中段からスマホで撮影すると手前の

防球ネットに勝手にフォーカスされうまくいかないことも多くシャッターチャンス逃してしまいがちでした。現時点では多機能なミラーレス一眼が最適解と考えますが、持込み規制がより厳しくなる可能性はありますので今後も注意は必要です。

